

和泊町立中学校のあり方座談会 会議録（概要）

1 日 時 令和7年12月11日（木曜日）午後7時～

2 会 場 国頭字研修会館ホール

3 出席者

(1) 国頭小学校区住民・国頭小学校保護者・教員 28名

(2) 和泊町教育委員会事務局：永井局長，市耒指導主事，和田次長，上別府次長
安田係長，村吉主査

4 会議の内容

(1) 開会あいさつ（永井局長）

(2) 和泊町立中学校のあり方について資料説明

(3) 質疑応答

(4) 終了

5 議事録（発言者，発言内容等を記載）

1. 開会あいさつ

（和泊町教育委員会 永井事務局長）

※省略

2. 会議の進め方と情報公開について

（事務局）

※省略

3. 現状と課題の説明（概要）

（事務局）

説明は，配布した座談会資料に基づき行われた。

4. 質疑応答及び意見交換

（参加者）

今までの町の政策を聞いていると，説明会を実施したからその方向でやっていきますよという流れでやっている。ゼロカーボン事業や総合交流施設など。ということは，5年後くらいに学校の統廃合は決めているわけでしょう。統廃合しないといけないという和泊町意思表示でしょう。地域のシンボルとして120年以上続いてきた学校を無くすということは，住民だけではなくて，巣立っていった島に思いを寄せている人達の気持ちはどうなるのか。地元選出の町会議員たちはどう思っているのか。先日のニュースで桜島が義務教育学校にすと言っていた。中学校の統合だけでなく，小学校も中学校も一緒に考えた方が良い。ついでに隣

町も巻き込んでやれば良い。ついでに沖永良部高校も。A町は令和9年度から沖永良部高校の生徒を確保するために離島留学をやると聞いている。この議論がどのくらい沸騰していくのかを見ている。私は、学校の統廃合に関して賛成も反対もしない。国頭小学校については、自分の母校なので残してほしい。ちなみに和泊中学校についてあまり思い入れはない。

(事務局)

和泊町として学校の統廃合を5年後くらいに考えているのではないかと。との質問に関しては、学校の統廃合を前提には考えていない。学校の再編については、全国的にも大きくふたつのやり方がある。ひとつは、教育委員会が主体となり関係機関と協議を行い、議会への説明を経て行政主導で実施する方法。県本土の市町村では、行政主導で統廃合を進めている自治体もある。ふたつ目は、地域の保護者や住民から学校の統廃合を進めてくださいと要望があり行政が動き出す方法。本町は、行政主導で進めるのではなく、和泊町内の子ども達にとってどのような教育環境が望ましいのかを最優先に考えている。そのためには、まず、各地域の保護者や住民の方々から幅広く意見を徴収する必要があると考えている。これまで、学校の統廃合について、地域住民の皆様から意見を聞く機会を設けることができていなかったが、児童生徒数の減少を踏まえて、行政としてもアクションに移していきたいと考えている。沖永良部高校の離島留学については、A町が、令和8年度に生徒の募集を行い、令和9年度からスタートする予定と聞いている。他市町村の事例を参考にしながら検討の余地はあると思っている。常に情報収集をしながら、実績を踏まえてメリットやデメリットを検証していきたい。中学校の統合だけでなく、小学校も中学校も一緒に考えた方が良い。とのご意見ですが、城ヶ丘中学校区でも同様の意見が出たので、来年度以降、検討していきたい。

(参加者)

現在、小学校2年生と5年生に子どもがいる。おそらく3年以内に統合することはないと思うので、保育園に子どもがいる世代の意見も大事だと思う。あと、この資料には学校施設のこと記載されているが、教員の先生の確保は十分にできているのか。

(事務局長)

教員の人事については、本町の教育長や教育委員会が判断しているのではなく、鹿児島県教育委員会が県内43市町村の教員配置について決定している。本町としても、教員の配置について教育長から要望を行っているが、必ずしも要望が叶うことではないということをご理解いただきたい。沖永良部島は、教員の方々からも人気であると聞いている。本町の中学校で起きた事例でもあるが、教科専任の教員が小規模校の場合、配置されない可能性があるということ、デメリットの部分ではある。

(参加者)

令和8年度から学校のあり方検討会は発足されるのか。内城の住民説明会では、多くの意見を聞いてから学識経験者を招致して設立すると説明があった。もし仮に学校の統廃合ありきだとしても、津波の関係もあるので城ヶ丘中学校に和泊中学校を合併する可能性もあるということですよね。そういうことも踏まえてのあり方検討会をつくるのか。中学校の合併をするのであれば、城ヶ丘中学校を和泊中学校に統合するというニュアンスを持っているが、どのような考えなのか？

(事務局)

学校あり方検討会の設立については、A町も来年度設置を検討している。あり方検討会から出された答申が全てではなく、和泊町のこども達の教育環境にとって望ましい。このような方向性も考えられるというもの。学校の統廃合が望ましいという答申であっても、保護者や地域の皆様のご意見をアンケートという形で徴収しながら、総合的に判断して決めていくという考えである。A町も同様で、こども達の教育にとって望ましい環境はどういったものなのかということを考えていくために、あり方検討会を設置する予定と聞いている。また、和泊中学校を城ヶ丘中学校に合併するという件について、現時点では、生徒数を考慮しても現実的ではないものと考えている。今後、和泊中学校の生徒数が減少してきた場合にはその可能性もある。現在、城ヶ丘中学校の生徒数は36名なのでスクールバスは2台で運行可能だが、和泊中学校の約140名を毎日送迎するとなると5～6台必要となる。我々は、財政的な部分を打ち出して、改善するために学校の統廃合を進める方向性ではない。城ヶ丘中学校においては、部活の人数も少なく、毎日2～3人で活動しているところもある。中学校の3年間は、部活や勉強の部分、特に心身の成長にとって重要な時期ととらえており、中学校の統廃合について地域の皆様のご意見を伺いたく、この座談会を開催している。

(参加者)

今、1歳と3歳の子どもを育てている主婦であり、去年、農業をするために家族でUターンして帰ってきた。長年、都会で生活していたため、和泊町のこども達の現状を知らなかったが、肌で感じるのはこどもの人数が物凄く減っていること。人数が少ないので、昔と比べるとこども達の闘争心が無くなってきている気がする。和泊町教育委員会が作成した資料は、数字的な部分や課題などが記載されており、すごく分かりやすく現状が分かった。私は、和泊町に根を張り、これからもこども達を一生懸命育てていきたいと思っているなかで、不安に思ったことが、城ヶ丘中学校に教科専任の先生が配置されない可能性があるとか、非常勤の教員しか配置されない部分が心配。保育園にこどもを通わせている30代の保護者の間では、中学校はひとつにしたほうが良いという声が多い。今回の座談会の参加者の方は、子育てが終わった世代の方が多いと思う。皆さんは、島に住んでいて、こども達が少なくなっている状況で、このまま人数が少ない学校に自分のこどもを通わせたいのかを聞いてみたい。

(事務局)

現在、城ヶ丘中学校には、幸いなことに5教科の専任教員が配置されているが、今後の配置については、現時点では明言できない状況。城ヶ丘中学校区で開催した座談会でも、教科専任の教員が配置されない可能性について、不安視されている保護者の声もあった。他地域の情報だが、保護者の方々は、こども達の教育環境を考えると学校の統廃合はやむを得ないという意見が多いが、地域の方々は、学校は地域のシンボルなので残したいという意見が多い傾向にある。本町においては、座談会を通して保護者や地域の声として意見を収集しているものの数値的なデータを持っていないため、来年度、あり方検討会のなかでアンケート調査の質問項目や調査範囲についても協議し、議会にも意見を伺いながら進めていきたいと考えている。20代～50代の子育て世代の皆様は、町の活力の原動力であることから、安心した子育て環境や充実した教育環境を整備していくことは、我々の責務と考えているため真剣に考えていきたい。

(参加者)

私は、小学生から大学生までこどもが5人いる。大学生が国頭小学校にいた頃は、全校生徒が100人くらいいた。和泊小学校に比べると人数は少ないものの、こども達を国頭小学校に通わせることができ本当に良かった。伝統芸能の継承や教員の方がきめ細かに指導してくださり関わってくれて嬉しかった。保護者の数も少ないので、みんなで協力して行事をこなしていた。和泊中学校に進学した時も、語弊があったら申し訳ないですが、和泊小学校区の保護者よりも国頭小学校区の保護者の方が、行事への参加率も高かった感覚がある。小学校は、地域のシンボルであるため残してほしい。中学校は、こどもが吹奏楽部に入っていて、城ヶ丘中学校と知名中学校と3校合同でコンクールに参加していて、いろいろ苦労もあったが、たくさん的人数で衝突しながらも、みんなでまとまるという素晴らしい経験ができて、切磋琢磨する姿が見られたので、中学校を統合して大きくするのも良い面があると感じた。資料の中の、和泊中学校のあり方についてのGOALの部分で、小中一貫型小中学校の施設一体型と施設分離型の違いを教えてほしい。小規模の小学校を残していくのであれば、家族が入居できるように住宅の問題も解決しないといけないと思う。内城小学校近隣に町営住宅が整備されこどもが増えている。子育て世代が入居できるような住宅整備が必要だと思う。住宅整備について、土木課とも協議を行っているのかを知りたい。

(事務局長)

新しく町営住宅を整備する件については、全く白紙の状態。町営住宅が不足しているかは把握していないが、世之主団地が内城校区にできて子育て世帯が入居してきたことで、小学校の人数が維持されている部分はあると思う。今後は、出生数がどのくらい減少してくるのかも関係してくるが、住宅整備は必要になってくると思うので、ファミリー世帯が小規模校にも通学できるように土木課とも連携していきたい。大きな町営住宅の建設は、人口が減って

きているのでなかなか厳しい部分があるが、教員住宅が11軒ほど空いている状況なので、土木課へ町営住宅としての移管または民間に売却することも考えていきたい。

(事務局)

小中一貫校の施設一体型について、例えば城ヶ丘中学校に大城小学校と内城小学校を統合させることをイメージしている。義務教育学校も同じようなイメージ。小中一貫校の施設分離型は、小中学校間でいろいろ連携はするものの、城ヶ丘中学校、大城小学校、内城小学校の校舎はそのまま残して離れたままで、今と現状はあまり変わらない形態なので、現実的にはあまりメリットがないと考えている。中学校を統合した場合には新設校となることから、その中学校の名前、校歌、校章などをリニューアルしている地域がほとんどである。統合した場合は、このようなことが起きることも念頭に入れてほしい。奄美大島のB町も中学校の統合が決定しており、令和9年度の開校に向けて準備委員会を設立している状況。

(参加者)

学校の統廃合については、行政主導のやり方と保護者や地域住民から声が上がってから行政が動く方法の大きくふたつのやり方があるということは理解できた。これは、どのように決めていくのかを教えてほしい。

(事務局長)

記載しているスケジュールにもあるように、まずは、町民の皆様の声を一番大事にしたい。今後、アンケート調査を実施し、数字等を取りまとめて要望の把握をする。これまでの座談会を通して、小学校を残してほしいという声が大きいいことは実感している。一方で、学校の統合をして大きな学校で子ども達の団体行動をさせてほしいという声もある。保護者や地域住民のニーズ集約やアンケート調査結果を分析して、統廃合の方向性については慎重に検討していきたい。最終的な判断は町長になると思うが、町長も教育委員会としても地域住民の声を尊重したいと考えている。

(参加者)

沖永良部島には、約800年前に1回大きな地震で津波が来ている。沖縄と奄美にそのような話があるので、万が一は起こりうる。大城と内城の方が心配しているということは、もしかしたらそのような記録が残っているかもしれない。国頭の人には薩摩が攻めてきた時にいろいろなものを渡しているため記録が残っていない。記録は見たことはないが、どこかに残っている。和泊中学校も昭和30年頃に洪水に遭っている。校庭に魚が浮いていたという話もある。写真もどこかにはあるはず。ということは、将来的に水害の可能性もある。校舎のある位置は、昔は砂浜なので地盤も軟弱。和泊中学校に城ヶ丘中学校を統合するのであれば、そういうところも調べた方が良くと思う。

(事務局)

現在、和泊中学校では年間2回、津波の避難訓練を実施している。和泊中学校に津波が来る可能性はゼロではないということもお伝えしたうえで、避難訓練の状況について城ヶ丘中学校区の座談会時にも説明をした。和泊中学校の海拔は18メートルということや我々の持っている情報も伝えているが、津波等の災害も起こりうることも想定しながら進めていきたい。例えば、今後、統廃合の方向性が決定した場合、翌年からすぐに学校の統合をするわけではなく、他市町村でも3年から4年の準備期間を経てスタートする事例が多い。

(参加者)

現在、内城小学校の全校生徒が38名だが、令和14年度は31名の予測になっており、あまり児童数が減っていない。国頭小学校は、67名から29名に減少する見込み。内城小学校の児童数が減っていない理由を教えてほしい。高校を卒業して島を出たこども達が帰ってきたくなるような町のUIターン施策等はあるのか教えてほしい。

(事務局長)

内城小学校の児童数があまり減少していない理由については、内城校区の出生数が関係しているのではないかと推測している。毎年度4名～5名生まれているというのは、若い世代が内城校区に帰ってきている。また、先ほど説明させていただいた世之主団地があることも要因のひとつではないかと推測している。町のUIターン施策については、企画課が実施している移住体験ツアーの開催や移住体験住宅を5棟ほど準備しているが、移住者数は伸び悩んでいるとも聞いている。仕事や住宅の確保など、離島特有の課題があるが、関係機関と連携しながら移住施策にも取り組んでいく必要がある。

6 閉会

参加者に対し、アンケートの回答は今後の方向性を決める大事なデータになるので、回答について重ねて要請し、閉会した。